

# ムソルグスキー「展覧会の絵」

～絵と音楽が作り出すプロムナード～

## 作曲者について

名前：（ ）・ムソルグスキー

生没年：1839年～1881年(享年 42歳)

時代：（ ）

ロシア独自の音楽を作ろうとした

作曲グループ（ ）の一人



## プロムナードとは

フランス語で（ ）

ムソルグスキーが絵から絵へと（ ）様子を（ ）で表現

曲集全体に形を変えて（ ）登場

## 展覧会の絵について

展覧会の絵はもともと「ピアノ曲」だった

ムソルグスキーの死後、フランスの作曲家（ ）がオーケストラ用に

編曲

## 音楽的要素

音色	どんな楽器が使われているか、音の音質 など
テンポ	速度の設定（速い、ゆっくり）や変化 など
リズム	拍や拍子、さまざまなリズム変化 など
強弱	音量の設定（大きい、小さい）や変化 など
メロディ	音のつながり方、フレーズ、音階、調 など

## 観賞しよう

絵のイメージとのつながりから、聴いて印象に残ったこと

《卵の殻をつけたひなどりのバレエ》	《キエフの大門》
-------------------	----------

なぜそのように感じたのか（音楽的要素の言葉を用いて）

《卵の殻をつけたひなどりのバレエ》	《キエフの大門》
-------------------	----------

## まとめ

絵から作る音楽とは？

絵や風景、登場人物など（ ）で感じたことを音楽にすること

音楽は音で（ ）や（ ）を表現できる